

# 第3学年 道徳学習指導案

日 時 令和5年7月6日(木) 5校時  
学校名 小金井市立緑小学校  
対 象 第3学年4組 29名  
授業者 杉山 祐次郎

## 《研究主題》

すすんで考え、関わり合いの中で学びを深めていく児童の育成  
～児童の実態に即した協働的な学びを通して～

1 主題名 「誰に対しても公平でいることの大切さ」 C 公正、公平、社会正義

2 教材名 「みさきさんの笑顔」 東京書籍「新しい道徳」3年

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする内容項目について

第3学年及び第4学年の公正、公平、社会正義の指導内容は、「誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接すること。」となっている。

この段階においては、誰に対しても分け隔てをしないで接することの大切さを少しずつ理解できるようになってくる。しかし、状況によっては、自分の気持ちや好みで相手に対して不公平な態度で接してしまうことも少なくない。学校生活においても、自分の仲間を優先してしまったり、相手によって態度を変えてしまったりという経験が児童にも一度はあるのではないかと考える。

不公平な態度が周囲に与える影響を考えさせるとともに、そのことが人間関係や集団生活に支障を来し、差別や偏見につながる可能性があることを理解する必要がある。私たちは、人と関わりながら生きている。学校という多くの人々との集団生活の中で人と人との関わりを深め、互いに温かい豊かな人間関係を築くために、誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平な態度で接する心情を育てていきたい。

5 本時の指導

(1) ねらい

しゅんやさんとみさきさんのどちらに本を貸すのかに迷う「ぼく」気持ちを考えることを通して、分け隔てをせず、誰にでも公正、公平に接しようとする心情を育てる。

(2) 展開

	学習活動（○主な発問・予想される児童の反応）	◇留意点 ☆評価の観点
導入	<p>1 事前アンケートの結果を共有し、公正、公平について考えたことや気付いたこと、誰に対しても公平でいるのが難しいのはどんな時か自分なりの考えをもつ。</p>	<p>◇事前アンケートにICTを活用する。 ◇事前アンケートの結果を提示し、互いの考えを共有することで、考えを広げたり、展開後段の振り返りにつなげたりできるようにする。 ☆【事前アンケート】【発言】</p>
展開	<p>2 教材「みさきさんのえがお」の話を聞く。</p> <p>3 教材の内容を理解し、登場人物の気持ちに共感しながら自分の考えを書いた後、お互いの考えを交流する。</p> <p>◎しゅんやさんにすぐに返事ができなかった時、「ぼく」は心の中でどんな気持ちだったでしょう。</p> <p>4 公正、公平な心で行動することができた登場人物の気持ちについて、児童同士で考えを共有し、考えを深める。</p> <p>○みさきさんの笑顔を見た時、私は心の中でどんなことを思ったでしょう。</p>	<p>◇主人公の「ぼく」の思いを考えることを押さえる。</p> <p>◇「ぼく」の迷いや葛藤を「見える化」し、「ぼく」の思い（根拠）を書かせる。</p> <p>◇ペア対話の方法や視点について確認を行い、児童同士で考えを共有し、共通点や相違点を見付けたりする中で自分の考えを広げたり深めたり（多面的・多角的）できるようにする。</p> <p>◇ペア対話後には全体での共有を行い、公正、公平な心で行動することの大切さや難しさを捉え、振り返りにつなげられるようにする。</p> <p>☆【記述】【発言】</p> <p>◇心の中で迷いや葛藤が続いていたのが、公正、公平な心で行動することができたことによって「ぼく」の気持ちが明るくなったことを捉えられるようにする。</p> <p>◇中心発問での児童の考えと公正、公平な心とのつながりを焦点化する。</p> <p>☆【発言】</p>

	<p>5 教材から感じたことや考えたこと、自分の経験とのつながり、これからに生かしたいこと等、様々な視点から自分の学びを振り返る。</p> <p>○誰に対しても公平であるために大切なことやその難しさについて考えたことを書きましよう。</p>	<p>◇学習の振り返りにICTを活用する。</p> <p>◇導入時の自分の考えと学習後の自分の考えを比較するように意識させる。</p> <p>◇教材から感じたことや考えたことがどのような経験につながったり、どのように生かしたりすることができるのかという視点をもてるように声を掛ける。</p> <p>☆【振り返り】</p>
<p>終末</p>	<p>6 教師の説話を聞く。</p>	<p>◇ 教師の経験を語る。</p>

